

幼児の姿

同じ学級の幼児の様子をうかがったり、行動の真似をして同じ物を持ちたがる姿が見えてきた。先生や近くにいる幼児に話しかけることが多くなり、相手の名前を呼ぶことが増えてきた。自分の名前を呼ばれるとうれしそうな表情をして受け答えをしようとしている。ままごとコーナーや砂場では、同じ場所にいたことをきっかけに一緒にいることをうれしく感じている様子もうかがえる。また、使いたい道具が重なってしまい、取り合いになる姿が見られるようになった。数人で同じ場所で過ごす時間が増え、相手を意識することの芽生えと捉えている。

戸外では、素足になって砂や水などの感触を面白がって遊んでいる。砂場で、すのこなどを使ってお店に見立てて、お客を呼んだり、やり取りしたりして遊ぶ姿がある。自然物を使って料理に見立てることも増えてきた。

内 容

[幼児が経験する内容 (指導内容)]

いろいろな素材に触れ、感触を楽しんだり気持ちを解放させたりするための内容

- ・砂場で水や草花を見立てて使う
- ・段ボールや新聞、小麦粉粘土などを用いて遊ぶ

先生や身近な幼児同士で身体を動かしたり歌ったりすることを喜ぶための内容

- ・先生やそばにいる幼児たちと身体を動かしたり歌ったりする
- ・学級全体で、リズム遊びやわらべうたをする
- ・楽器を使う

[幼 児 の

砂場で遊ぶ

- ・水を汲んだり、流したりする
- ・草や葉、花などの自然物で遊ぶ
- ・料理に見立てて、ごっこ遊びをする
- ・掘ったり、山を作ったりする

ごっこ遊びをする

- ・ついたてやテーブルを使ってままごとをする
- ・お面、マントなどを身につけてなりきる
- ・段ボールを使って遊ぶ
- ・道具を入れる・運ぶ・入る

先生と一緒に過ごす

- ・CDをかけて体を動かす
- ・楽器を使う
- ・わらべうたをする
- 『かごめかごめ』

備考

11日(水)
振替休業日

12日(木)
1組体重測定

14日(土)
生活科・総合的学習全国大会

ねらい

- いろいろな素材に触れ、感触を楽しんだり気持ちを解放させたりする
- 先生や身近な幼児同士で、一緒に身体を動かしたり歌ったりすることを喜ぶ

保健安全の視点

- 気候に合わせて、戸外で活動することが多くなり、素足になったり手足が汚れることが多くなっていく。遊びに応じた身の回りの始末に慣れ、自分でしようとする意識に働きかけていく。
- 雨天時に、室内に留まることが多い時や雨でテラスが滑りやすくなる時は、幼児の動きに注意を払い、けがのないように配慮する。

配慮事項 (具体的ななかかわり・環境構成の仕方)

生活]

- いろいろな素材を使う -----
- ・折り紙やシールで飾ってバッグを作る
 - ・室内の飾りを折り紙で作る
 - ・小麦粉粘土に触れる
 - たたく・丸める・ちぎる・踏む
 - ・新聞紙を使う
 - ちぎる・丸める・かける・投げる

歌を歌う

- 『ようちえんのうた』
- 『あひるのぎょうれつ』
- 『かたつむり』

絵本

- 『ぐるんぱのようちえん』
- 『ねずみくんのチョコッキ』など

- 砂場の砂は、水を含んだ場所や乾いた場所を作ったり掘り起こし方にも変化をつけたりして、様々な形状の砂に触れられるようにする。気候によっては、素足になって汚れを気にせずに遊べるようにする。
- いろいろな素材に触れる経験として、新聞紙、粘土などを準備する。新聞紙や段ボールを使って気持ちを発散させて遊ぶことができるように整えていく。新聞紙をちぎる、丸める、かけるなど全身を使って遊べるようにする。
- ままごとコーナーの道具として様々に見立てができる木片やフェルトなどを準備して、イメージを広げて遊べるようにする。
- わらべうたや鬼ごっこ、音に合わせて体を動かすなど、体全体を使いながら大勢で一つの遊びに誘っていく。繰り返し誘っていきながら、学級全体の活動にも楽しんで参加できるようにしていく。
- 学級の幼児の名前を少しずつ覚えて、呼んだり呼ばれたりしながら、かかわる姿が見えてくる時期である。道具などの数に配慮し、一緒に遊べる環境を整えるようにする。教師も同じ物を身に付けたり、使ったりしながら、幼児同士のつながりも意識していく。

評価の観点

- いろいろな素材に触れ、感触を楽しんだり気持ちを解放させたりする姿が見られたか
- 先生や身近な幼児同士で身体を動かしたり歌ったりすることを喜ぶ姿があったか

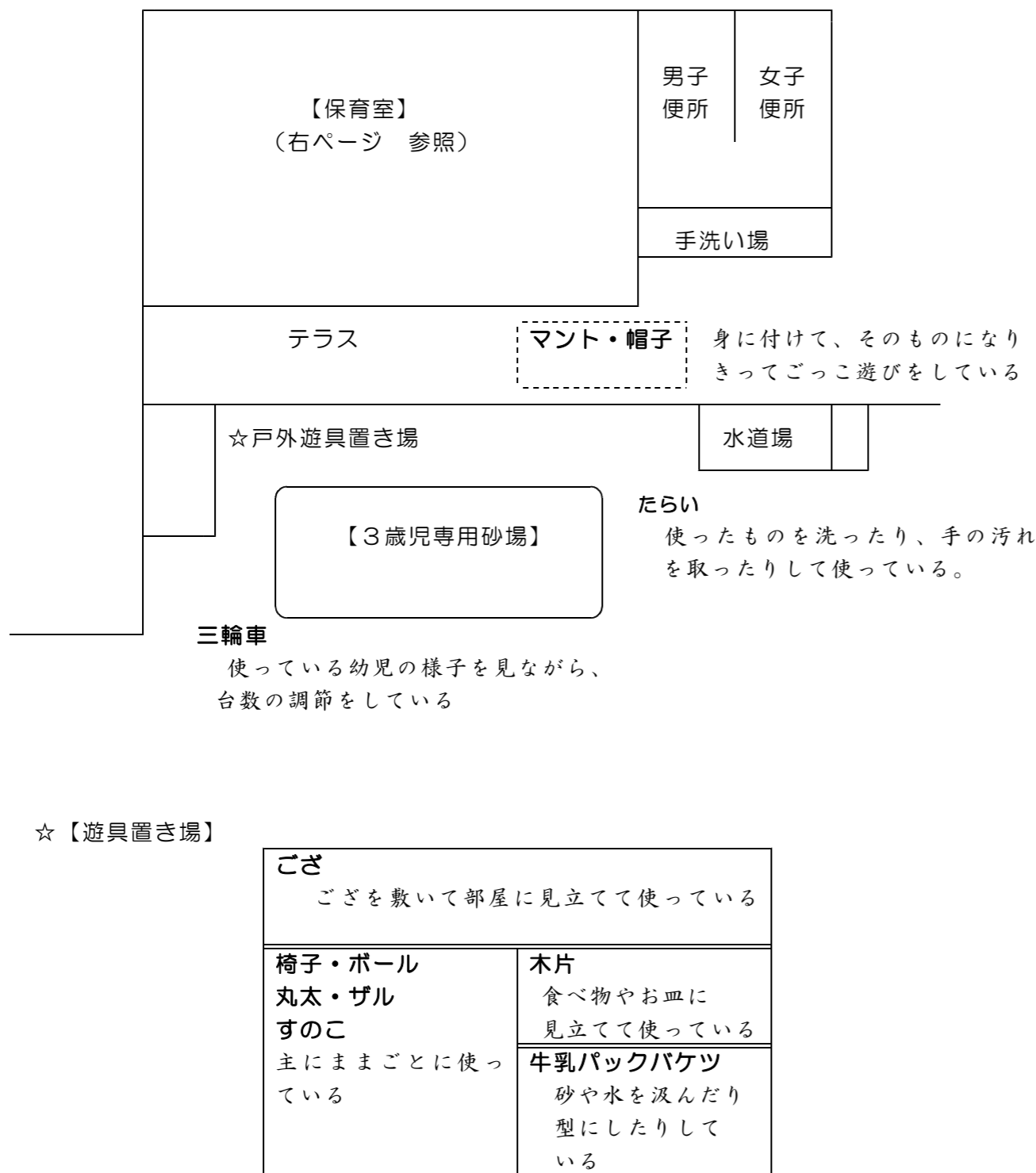
<p>幼児の姿</p>	<p>一緒に遊びたいという思いが強くなってきて、同じ場所にいる幼児が気になったり同じ道具を使いたがったりする姿が見えてきた。興味の同じ幼児同士が、同じ動きをして喜んだり、うれしそうに言葉でやり取りしたりできる幼児が増えてきた。</p>		
<p>ねらい</p>	<p>○興味の近い幼児と同じ場所で安心して過ごす。</p>	<p>保健安全の視点</p>	<p>着替えをしよう意識すると同時に、手をきれいにしてお過ごし心地良さと必要性に気付き、石けんを使って手をきれいにしよう働きかけていく。</p>
<p>指導内容</p>	<p>○身に付けたり、道具を見立てたりしてごっこ遊びをする</p>		
<p>8:50~9:00</p> <p>(9:15)</p>	<p>○登園する ○登園時の活動をする ・コート、帽子、靴をロッカーにかける ・ハンカチをポケットにしまう ・うがい・手洗いをする ・トイレを済ます</p> <p>○好きな遊びをする 〈室内〉・ごっこ遊びをする 【おうちごっこ・電車ごっこなど】 やり取りが楽しくなってきた幼児同士が、エプロンやマントを身につけて役になりきってごっこ遊びをする姿が見られる。なりきった面白さを十分に感じられるように、教師も一緒にやり取りに加わったり、同じ物を持ったり身に付けたりして幼児同士のつながりのきっかけをつくっていく。 ・リズム遊びをする 【わらべうた・楽器など】 音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ幼児が、自由に音を出せるようにCDデッキを準備する。教師も見ていることがわかるよう、手を叩いたり一緒に歌ったりする。 ・段ボールや新聞紙を使う 段ボールを宅急便に見立てて道具を運んだり、新聞紙をちぎって中に入れお風呂のお湯に見立てたりして遊ぶ幼児のイメージに近い言葉をかけて、なりきって遊べるようにしていく</p>		<p>短縮保育時間であるが、登園時の活動を手際よくすすめることで遊ぶ時間を十分保障したい。</p> <p>天候や気温によって、遊び着の下に着る衣服の枚数を個々に調整する。トイレの近い幼児が多いので、遊び始める前に排泄を促す。</p>

	<p>＜砂場周辺＞</p> <p>〔気候が良ければ、素足になって遊べるように意識して誘い出していく。手足が汚れてしまうことに抵抗がある幼児には、無理に誘うことはせずに、友達が楽しく遊んでいる様子に気付かせたり、教師も一緒に素足になって、楽しさや、やってみようとする意識に働きかけていく。〕</p> <p>・水を汲んだり、砂と水を混ぜたりして山や川、料理などに見立てて遊ぶ 〔砂場で心地よく遊べるように、水の扱い方を確かめたり、遊び着の裾や袖の始末を個々に働きかけたりしていく。〕</p> <p>・葉や草花を使って、料理に見立てる 〔遊びの中で作っている料理に使えるよう、教師と一緒に園庭で見つけに出かけたり、飾ったりしながら、自然物に親しめるようにする。〕</p> <p>〔それぞれの幼児が遊んでいる場所で、幼児同士のやり取りする姿を捉え、言葉の不足を補ったり、幼児の思いが相手に伝わるように仲介したりしていきながら、やり取りする楽しさを感じて遊べるように働きかけていく。〕</p> <p>9:40 ○後片付けをする 〔きれいになる心地良さを感しながら遊具の片付けや汚れの始末をすすめていけるよう働きかける。戸外で裸足になっている幼児には、少し早めに声をかけていく。短い時間で片付けに気持ちが切り替われない幼児もいることが予想される。教師が手を貸して手早く済ませられるようにする。〕</p> <p>○降園準備をする ・トイレを済ます ・うがい、手洗いをする ・コップとハンカチをしまう 〔本日は保育時間に変更されて、準備等の手順がかわっているが、幼児が混乱しないよう早めに声をかけたり、手を貸したりして、スムーズにいくよう配慮していく。〕</p> <p>10:00 ○降園時の活動をする ・帽子、靴を身に付ける ・絵本を読む ・絵本『ぐるんぱのようちえん』を聞く ・歌を歌う『かたつむり』 ・挨拶をする 〔クラス全員で楽しく過ごす時間を持ち、短い保育時間でも満足した気持ちで降園できるようにする。〕</p> <p>10:20 ○降園する</p>		
<p>備考</p>	<p>生活科・総合的学習全国大会</p>	<p>評価の観点</p>	<p>○興味の近い幼児と同じ場所で安心して過ごしている姿が見られたか</p>

環境構成図

3歳児

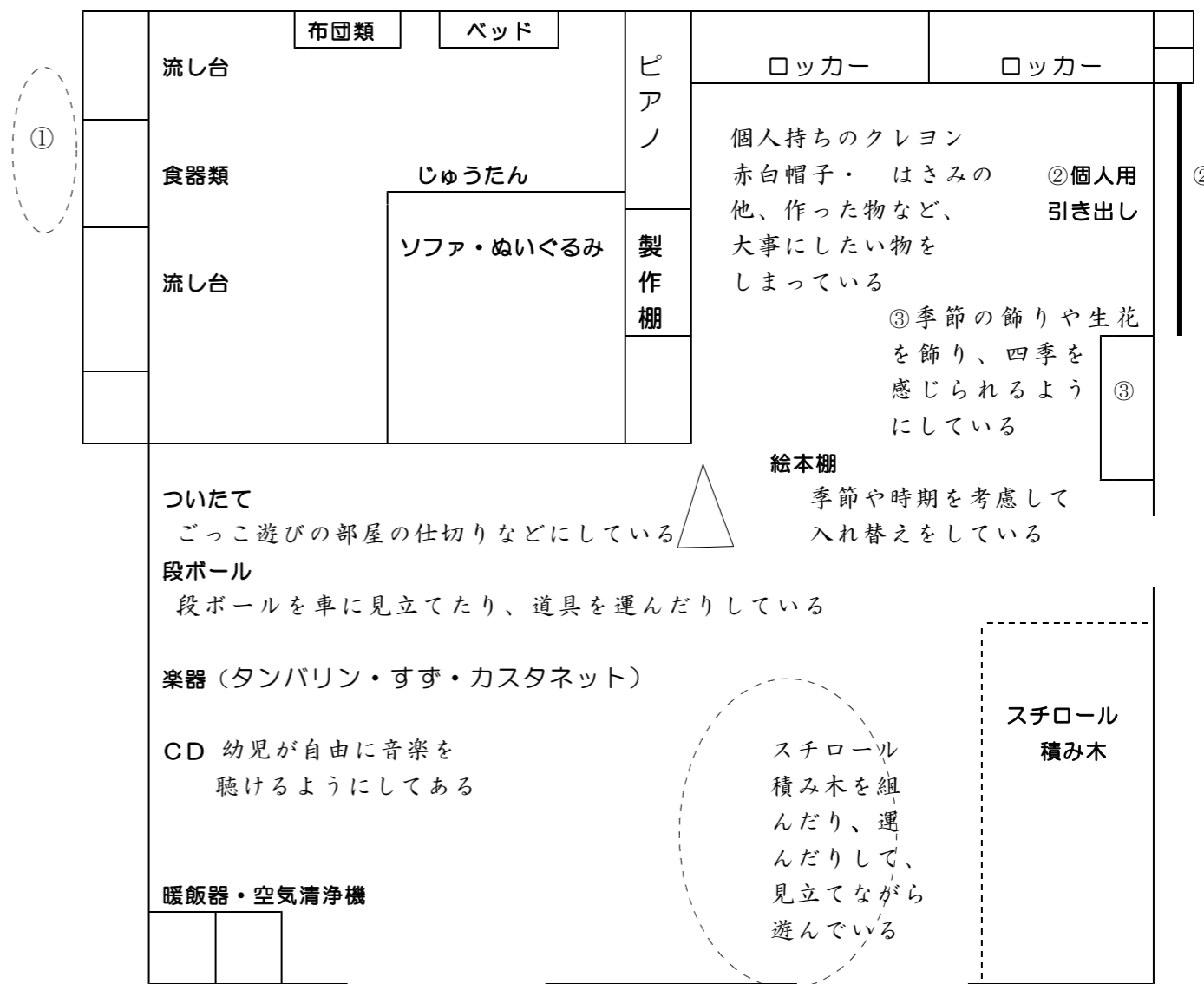
【3歳児保育室周辺】



【3歳児保育室】

① てぬぐいの飾り
季節を感じられる室内
飾りとして掲示してい
る

布製ままごと道具
いろいろに見立てて遊べるように、白木綿の生地を依型、丸、縦長の
形に綿を詰めて作ってある



【保護者の手作り品】 卒園記念品として、年長児の保護者に手作りしてもらっているもの

鉢植えトールペイント 扇風機カバー ピアノカバー 暖飯器カバー テーブルクロス
紙芝居台カバー 遊び着 ままごとエプロン ままごと道具 ままごと用布団類